



# Library News

渋川女子高校図書委員会  
2024年度第10号  
2月5日発行

受験生がんばろう号

## 2月の寒さに打ち勝つための 寒さ対策、図書館はどうですか？



2025年の寒さ対策、あなたはどうしていますか？  
昼休みや放課後は図書館に来るのも良い対策の1つであると、私は声を大にして言いたいです。日々来てくれている図書委員さんが言っています、「来るまでは寒いけど、来ちゃえばあったかい！」と。2-2の生徒が一生懸命灯油を毎回運んでくれています。真冬でもぜひぜひ図書館に来て素敵な1冊に出会ってください。

## 朝日けんさくくん、 使う3年生が増えてきました

朝日けんさくくん、2次試験対策に使う3年生が増えました。検索もしやすく、少ない言葉でもちゃんと関連する記事にヒットします。なかなか使いやすい印象です。印刷すると大きな字で出てくるので読みやすい。あなたの小論文・社会科目・現国等々の対策、図書館では絶賛協力中なので、朝日けんさくくんを図書館で一緒に使ってみましょう！受験生だけでなく、1・2年生は探求学習などにも活用してみてください！



## 木暮さんの トホホな受験 エピソード

東京の大学を受験しました。受験前に、父と一緒に交通機関の使い方・最寄り駅から大学まで徒歩での行き方を練習しました。基本、JR利用で行けるようにと練習しました。当日は東京の友人宅から一人で出発し、練習どおりの乗り場から受験校へ向かう電車に乗りました。乗り場も間違えなかったし、バッチリ！と心の中で安堵していた私がありました。ところが電車の中がどんどん暗くなっていきます。地上を走るJRのはずなのになぜこんなにも突然暗くなるのか、群馬で生まれ育った私は不安でいっぱいになりました。真っ暗な中進む電車ですが、自分の下りる駅と同じ駅名が聞こえてきたので、「よくわからないけどまあ着いたようだ」と、にわか安堵で電車を降り、出口を目指しました。ところが出口を出た所の景色が、練習した時に出た出口の景色と全く違い、ここでまた群馬の少女は不安でいっぱいになりました。駅と受験校は目と鼻の先の距離なのですが、不安でいっぱいの群馬の少女は練習で培った自信を見事に喪失し、タクシーで何とか受験校に辿り着いたのです。慌てふためきながらだったので、昼食を用意するのも見事に忘れ、昼休みは鳴るおなかを抑えながら水分でしのぎました。本当にあきれするような行程とメンタルコンディションで臨んだ試験でしたが（良い子は真似しないように）、そこが私の母校となりました。諦めないことが大切だと痛感した群馬の少女でした。

## 蔵書点検中です！

## 本の返却日を守りましょう！

先々月より、蔵書点検を進めています（いつ終わるんだ・・・）。返却日を過ぎた本があると、図書館システムでは「不明本」となってしまうので、**返却日の厳守**をお願いします。

蔵書点検とは、1冊ずつバーコードで読み取っていくのですが、渋女図書館は約26,000冊の蔵書数を誇る図書館で、今、この作業を必死に頑張っています。この蔵書作業というトンネルは果てしなく見えてなりません。私はこのトンネルの出口の光を3月までには見たい、いや絶対見るんだ、そう自分を鼓舞しながら日々バーコードリーダーを握っています（笑）。今が正念場の受験生、学年最後の期末考査で頑張る1・2年生、辛くなったら木暮さんのことを思い出してください、「あの人も暗いトンネルの中を必死に耐えて前に進んでいる」「あの人ができてるんだから私もできる」と。

